

かしわば

第9号

2006.1

2006年 年頭挨拶
4月には開院35周年を迎えます
理事長 柏葉 武
「来て良かった」と言っただけの
医療サービスを
院長 金子 貞男

2006年1月スタート
セカンドオピニオン外来

かしわばゼミナール
安全な手術を支える高度な麻酔技術

おしらせ
脳健康診断『脳ドック』を行っています

食べて健康
わかめ



柏葉武 理事長



4月には開院35周年を迎えます

「来て良かった」と言っていただけ医療サービスを

皆様、明けましておめでとう
ございます。

昨年は、医療のレベルアップ
と患者さんの医療環境並びに職
員の職場環境のアメニティ改善
をメインテーマとして、2年7
カ月間にも及んだ第5期工事が
3月末に無事完成し、新時代の
医療ニーズに応え得る病院を
めざして、全職員一人一人が心
新たにスタートした年でした。

今年の4月には、開院35周年
のささやかな節目を迎えます。

ハード面はもとより、より一層
のソフト面改善を強化しながら
地域医療のニーズに応え得るよ
うに、全職員が一丸となってフ
アイトを燃やしております。

地域の皆様、連携病医院の皆
様の変わらぬご教導、ご鞭撻を
賜りますよう、何卒よろしくお
願い申し上げます、年頭のご
挨拶といたします。

新年、明けましておめでと
うございます。皆様も爽やかな
新年を迎えられたことと思いま
す。

私どもの柏葉脳神経外科病院
が、リニューアルした形で新年
を迎えられたことは、皆様のご
支援の賜物と思っております。

これからも医療情勢はますます
す厳しいものとなりますが、今
まで通り患者さんのQOL（生
活の質）を第一に考え、患者さ
ん一人一人の生き方を尊重し、

患者さんの医療ニーズに合わせ
た過不足のない医療サービス
提供できるように努めたいと思
っております。

また、多くの正しい情報を患
者さんとご家族に提供させてい
ただくことにより、患者さん
を中心とした医療サービスを実
践し、「この病院に来て良かった」と
言っていただけではないと思っ
ております。



金子貞男 院長

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサレ
びに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医
療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理
解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技
術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーシ
ョンまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、より
ダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権
利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知
る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利が
あります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカン
ドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る
権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利
があります

2006年1月スタート

セカンドオピニオン外来

完全予約制

セカンドオピニオンとは？

セカンドオピニオンとは「第二の意見」という意味です。つまり、診断や治療方針について「主治医以外の意見」を聞き、自分の病気に対する理解を深め、最適の治療を決定するためにを行う情報収集のことです。

セカンドオピニオン外来を受診できるのは、当院以外の病医院にかかっており、主治医の治療方針について、ほかの専門医の意見を聞いてみたいご本人、またはそのご家族の方が対象となります。

患者さんの基本的な権利です

医療は日々進歩し、さまざまな最新の治療法が生まれており、選択肢も多岐にわたっています。そのような中で、専門知識を持たない患者さんが、複数の医師の意見を聞いたうえで、納得してご自身

の治療法を選ぶのは、患者さんの基本的な権利なのです。

当院では、セカンドオピニオンを担当するのに相応しい最新医療の知識を持つ専門医が、患者さんが納得できる最適な治療法を選ぶお手伝いをいたします。

ご相談内容に応じた専門医が面談します

お申込み時にお伺いしたご相談内容に応じ、理事長・院長・副院長・医局長・神経内科医長が、セカンドオピニオンを担当する専門医を決定いたします。

■ご用意いただくもの

- ・主治医の先生からの診療情報提供書（紹介状）
 - ・検査資料（レントゲン写真、その他の検査等）
- ※ご家族だけのご相談の場合は、患者さんご本人からの委任状

費用:30分 7,350円 (消費税含む)

(以降30分毎に3,150円追加)

※保険診療対象外となります。

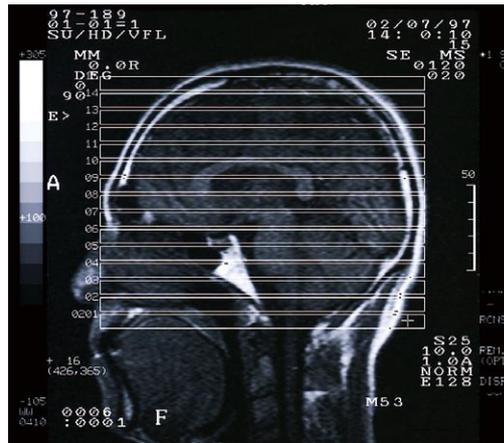
■お申し込み・お問い合わせは

地域医療連携室

電話：011-851-2370 FAX：011-851-9466

※脳神経外科および神経内科にかかっている患者さんの治療方針についてのご相談が目的です。以下の内容についてはお受けできませんのでご了承ください。

- ・現在受診中の病院に対する苦情や転院目的のご相談
- ・訴訟を目的としているご相談
- ・診療費についてのご相談



予約受付時間:平日 13:30~16:00 / 土日祝:休み

主治医と良好な関係を保ちながら、ほかの専門医の意見を聞くことができます。

セカンドオピニオンは、「主治医を替える」ことではありません。

かしわば ゼミナール

第9回

安全な手術を支える 高度な麻酔技術

麻酔科医が、さまざまな処置を行います

**手術中は、麻酔科医が
患者さんの容態をチェック**

**手術によって、全身麻酔と
局所麻酔を使い分けます**

当院では、脳動脈瘤や脳腫瘍、頭部外傷などの手術を年間350件ほど行っています。その手術と切っても切り離せないのが麻酔です。麻酔は、「患者さんの意識をなくして不安やストレスを取り除く」「痛みを取り除く」「筋弛緩薬を用いて骨格筋が動かないようにする」などの重要な役割があります。

麻酔には全身麻酔と局所麻酔があり、手術する部位や患者さんの状態に応じて使い分けます。全身麻酔では、脳や脊髄の機能を一時的に抑えることで、患者さんが手術の痛みを感じないようにします。また、意識もなくなり、手術中の記憶は残りません。局所麻酔では、薬で神経の働きを一時的に遮断して、体の一部の痛みを感じにくくします。脳への作用はほとんどありませんので、局所麻酔中は意識があり、手術中の会話や器具の音が聞こえます。

麻酔に関することは、麻酔科医が担当します。適切な量の麻酔薬を投与し、手術中の患者さんの全身状態をいろいろな最新機器を使って常に厳重に監視し、手術のストレスによって起こる、呼吸の異常、血圧の上下、不整脈、出血、体温の変化などに対して必要な処置を行い、患者さんの生命を守っています。

脳腫瘍の手術は全身麻酔が一般的ですが、当院では、手術時に局所麻酔を使って、患者さんと直接会話したり、手足を動かしてもらうなどして、中枢とそれぞれの神経機能を確認しながら腫瘍を摘出する「覚醒開頭術」を行っています。確実に腫瘍を取り除き、後遺症を最低限度に抑えることができます。最先端の手術方法です。



麻酔には全身麻酔と局所麻酔があり、手術する部位や患者さんの状態に応じて使い分けます。全身麻酔では、脳や脊髄の機能を一時的に抑えることで、患者さんが手術の痛みを感じないようにします。また、意識もなくなり、手術中の記憶は残りません。局所麻酔では、薬で神経の働きを一時的に遮断して、体の一部の痛みを感じにくくします。脳への作用はほとんどありませんので、局所麻酔中は意識があり、手術中の会話や器具の音が聞こえます。

NEWS おしらせ

脳の健康診断
「脳ドック」を
行っています

MRA（磁気共鳴血管撮影）とMRI（磁気共鳴断層撮影）などの高度な画像診断装置を用いて、脳の精密健康診断ができます。

■毎週火・木曜日の午後（祝日を除く）

Aコース	頭部MRI・頭部MRA・ 頸動脈エコー・血圧測定	33,000円 <small>消費税含む</small>
Bコース	頭部MRI・頭部MRA・ 頸部MRA・頸動脈エコー・ 脳波検査・血圧測定・血液 検査・尿検査	45,000円 <small>消費税含む</small>

完全予約制です。2週間前までに、お電話または当院受付でお申し込みください。

電話 011-859-5636（直通）

受付時間／9:00～12:30 13:30～16:30

*土・日・祝日は受け付けていません。



高血圧と動脈硬化を予防する
アルギン酸に注目！

ヨウ素が心身を元気にします

わかめには、体内の代謝を活発し、精神を安定させて心身を元気にするヨウ素が含まれています。骨を丈夫にするカルシウムや血圧降下作用があるカリウムも豊富です。

ぬめりには高血圧を防ぐアルギン酸
わかめの「ぬめり」は、食物繊維のアルギン酸。高血圧を予防する効果があるだけでなく、高脂血症や動脈硬化なども防いでくれます。

2006年がスタートしました。暖冬予想が一変し、大雪と寒い日が続いておりますが、体調管理は万全でしょうか。

今年も医療界は、医療制度改革をはじめ変動の年となりそうです。変動をしっかりと見据え、よ

編集後記

り正確な情報をお伝えし、皆様に安心して読んでいただける広報誌づくりをしていきたいと思っております。

皆様のご指導を、今年もよろしくお願いたします。

（小川）